

令和7年度 事務事業評価表 (令和6年度実績)

事務事業名		介護老人保健施設事業費			担当所属	病院管理課		
基本情報	分野	5 福祉・健康・医療	事業期間	～ 永年				
	基本施策	2 高齢者福祉の充実	会計種別	介護老人保健施設事業会計				
	推進施策	2 介護サービスの充実	実施計画		総合戦略			
事業概要	対象	周南市介護老人保健施設 ゆめ風車						
	意図	経営の健全化を図り、高齢者の在宅復帰、在宅療養を支援する。						
	成果	平成16年の開設以来、毎年多くの市民へ介護サービスを提供している。(入所 約2万人/年、通所 約4千人/年)						
	手段	一般会計から、企業債元利償還金のうち用地取得分の全額及び建物建設分の3分の1を補助金として繰り出す。						
指標	活動指標	指標名	単位	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	R7年度見込	
		経常収支比率	目標値	%	101.2	98.9	99.1	96.6
			実績値	%	99.5	100.8	97.6	-
			目標達成度	%	98.3	101.9	98.5	-
コスト	(単位：千円)		令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 予算	
	トータルコスト		51,334	51,437	41,846	42,079	74,528	
	事業費		44,231	44,231	34,576	34,576	67,025	
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		44,231	44,231	34,576	34,576	67,025	
	人件費合計		7,103	7,206	7,270	7,503	7,503	
正職員		7,103	7,206	7,270	7,503	7,503		
正職員以外 (事業費集計済分)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
人員	正職員 (人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00		
	正職員以外 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
環境変化等	開始時の周辺環境							
	市民の施設利用の機会を確保するため平成16年度から公営企業として運営を開始した。							
	現状の周辺環境							
評価	評価項目		評価	評価の理由				
	妥当性	1. 市の関与(税金支出)	A	公設の施設として経営の安定化を図るため、一般会計から企業債の元利償還金のうち、用地取得分の全額及び建物建設分の3分の1を繰出す。公営企業として事業の収益性を評価するため、経常収支比率を指標としている。				
		2. 事務事業の目的(対象・意図)	A					
3. 事務事業の目標(活動指標等)		A						
有効性	4. 計画の実施状況	A	経営戦略に沿って事業を実施した。前年度と比較すると費用の増加等により収支が悪化し、目標を達成することが出来なかった。					
	5. 目標(活動指標等)の達成度	B						
	6. 上位施策への貢献度	A						
	7. 事業成果の向上へのさらなる取組み	B						
効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み	A	指定管理者制度を導入し、民間のノウハウを活かしながら運営を行っている。指定管理者と定期的な協議を行いながら、効率的な運営に努める。					
	9. 類似事業との統合・代替の検討	A						
	10. これまでの実施手段	B						
総合評価	A	経費節減の余地が小さくなってきている中、入所者の在宅復帰を促進することで、利用者の満足度向上とともに、収益単価の向上を目指す。						
改革案	今後の実施方向性	維持	令和7年度から繰出基準を見直し、企業債元利償還金のうち、建設当初の建設費及び用地取得分の未償還部分については全額、令和7年度以降の建設改良費分の2分の1を一般会計から繰り出す。					
	成果方向性	成果維持						
	コスト方向性	コスト増大						
	改革効果(どのような効果が期待できるか)							
公設の施設として安定した施設運営を行い、周南西部地域における介護サービス事業及び地域包括ケアシステムの構築に寄与することができる。								

令和7年度 事務事業評価表 (令和6年度実績)

事務事業名		市立病院事業費			担当所属	病院管理課		
基本情報	分野	5 福祉・健康・医療	事業期間	～ 永年				
	基本施策	5 地域医療の充実	会計種別	病院事業会計				
	推進施策	1 地域医療体制の充実	実施計画		総合戦略			
事業概要	対象	周南市立新南陽市民病院						
	意図	市民病院の経営の健全化を図り、良質な医療を安定的に提供する。						
	成果	平成12年の開設以来、毎年多くの市民への医療サービスを提供している。(入院：約4万人/年、外来：約6万人/年)						
	手段	地方公営企業法の規定に基づき、一般会計から繰出しを行う。①救急医療の確保に要する経費②リハビリテーション医療に要する経費③高度医療に要する経費④医師及び看護師等の研究研修に要する経費⑤医師等の確保対策に要する経費（派遣職員通勤経費）⑥建設改良に要する経費（企業債の元金・利息）						
指標	活動指標	指標名		単位	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	R7年度見込
		経常収支比率	目標値	%	100.3	98.5	99.3	98
			実績値	%	104.7	95.7	89.5	-
			目標達成度	%	104.4	97.2	90.1	-
コスト	(単位：千円)		令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 予算	
	トータルコスト		448,632	457,461	460,651	472,453	481,878	
	事業費		437,267	445,931	446,111	449,944	459,369	
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		437,267	445,931	446,111	449,944	459,369	
	人件費合計		11,365	11,530	14,540	22,509	22,509	
正職員		11,365	11,530	14,540	22,509	22,509		
正職員以外 (事業費集計済分)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
人員	正職員 (人)	1.60	1.60	2.00	3.00	3.00		
	正職員以外 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
環境変化等	開始時の周辺環境							
	開設以来、山口大学医学部の協力を受け、医師を確保している。							
	現状の周辺環境							
評価	評価項目		評価	評価の理由				
	妥当性	1. 市の関与（税金支出）	A	国が示す繰り出し基準に基づく支出である。公営企業として事業の収益性を評価するため、経常収支比率を指標としている。				
		2. 事務事業の目的（対象・意図）	A					
3. 事務事業の目標（活動指標等）		A						
有効性	4. 計画の実施状況		A	経営強化プランに沿って、経営の効率化に向けた取組を推進した。収益は過去最高となったものの、費用の増加が収益の増加を上回り、目標は達成できなかった。地域医療の確保や救急医療の充実に貢献できた。				
	5. 目標（活動指標等）の達成度		B					
	6. 上位施策への貢献度		A					
	7. 事業成果の向上へのさらなる取組み		B					
効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み		A	感染症等の新たな疾病や診療報酬の改定など、状況や情勢に対応していく必要がある。				
	9. 類似事業との統合・代替の検討		A					
	10. これまでの実施手段		B					
総合評価	A	安定した経営のために、経営強化プランの推進に加え、現状を踏まえた経営分析を医療公社と共に進め、収益の改善につとめる。						
改革案	今後の実施方向性	維持						
	成果方向性	成果維持						
	コスト方向性	コスト維持						
	改革効果（どのような効果が期待できるか）							
安定的・継続的に質の高い医療を提供し、周南西部地域の中核的病院として、地域住民の健康と福祉の増進を図ることができる。								